



2019年6月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年2月13日

上場会社名 (株)アルバック

上場取引所 東

コード番号 6728 URL <https://www.ulvac.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役執行役員社長 (氏名) 岩下 節生

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員IR室長 (氏名) 梅田 彰

TEL 0467-89-2033

四半期報告書提出予定日 2019年2月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (国内機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2019年6月期第2四半期の連結業績(2018年7月1日～2018年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2019年6月期第2四半期	116,794	6.8	15,487	17.2	16,373	16.7	11,234	31.2
2018年6月期第2四半期	125,277	11.8	18,699	29.8	19,662	34.3	16,317	44.3

(注) 包括利益 2019年6月期第2四半期 2,279百万円 (92.2%) 2018年6月期第2四半期 29,230百万円 (85.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2019年6月期第2四半期	227.97	
2018年6月期第2四半期	331.16	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2019年6月期第2四半期	283,989	150,726	50.9
2018年6月期	297,418	154,069	49.6

(参考) 自己資本 2019年6月期第2四半期 144,425百万円 2018年6月期 147,531百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2018年6月期				95.00	95.00
2019年6月期					
2019年6月期(予想)				105.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2019年6月期の連結業績予想(2018年7月1日～2019年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	9.7	23,500	33.5	25,000	32.3	16,000	55.4	324.70

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

なお、特定子会社以外の子会社の異動につきましては、以下のとおりであります。

除外 1社 (社名 寧波愛発科真空技術有限公司)

当第2四半期連結会計期間において、寧波愛発科真空技術有限公司の第三者割当増資により当社の持分比率が低下したため、同社を連結の範囲から除外し、持分法適用の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2019年6月期2Q	49,355,938 株	2018年6月期	49,355,938 株
期末自己株式数	2019年6月期2Q	76,792 株	2018年6月期	82,336 株
期中平均株式数(四半期累計)	2019年6月期2Q	49,276,377 株	2018年6月期2Q	49,272,351 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11
3. 補足情報	12
(1) 販売実績	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(単位：百万円)

	2018年6月期第2四半期 連結累計期間	2019年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	146,329	119,461	△18.4%
売上高	125,277	116,794	△6.8%
営業利益	18,699	15,487	△17.2%
経常利益	19,662	16,373	△16.7%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	16,317	11,234	△31.2%

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、設備投資が増加し企業収益が改善するなど、緩やかに回復してきました。米国では、個人消費や設備投資の増加などにより景気の回復が続いてきました。欧州では、消費が緩やかに増加し生産や輸出が持ち直すなど、景気は緩やかに回復してきました。中国では、各種政策効果もあり景気の持ち直しの動きが続いてきましたが、このところ消費、輸出の伸びが低下するなど緩やかに減速してまいりました。

当社グループを取り巻くエレクトロニクス市場においては、データセンター向けサーバー需要の増加等によるメモリ需要の拡大を受け、半導体メモリーメーカーの設備投資が継続してまいりましたが、足元では需要の鈍化等により新規設備投資延期の動きが出ております。しかしながら中長期的にはスマート化社会の進展に向けた投資が活発化するものと見られます。一方、フラットパネルディスプレイ(FPD)業界においては、テレビ用パネルの大型化、高精細化に伴う大型液晶パネル製造向けの設備投資が中国を中心として継続しました。スマートフォン向け有機ELパネルの設備投資は韓国での投資抑制はあるものの、他地域での設備投資は継続しました。

このような状況において、当第2四半期連結累計期間につきましては、受注高は1,194億61百万円(前年同期比268億68百万円(18.4%)減)、売上高は1,167億94百万円(同84億83百万円(6.8%)減)となりました。また、損益につきましては、営業利益は154億87百万円(同32億11百万円(17.2%)減)、経常利益は163億73百万円(同32億89百万円(16.7%)減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては、112億34百万円(同50億83百万円(31.2%)減)となりました。

当初予想に対しては、受注高は想定並みとなりましたが、売上高は液晶パネルや太陽電池関連、半導体メモリ関連の客先投資計画変更等により未達となり、各利益項目も当初予想を下回りました。

セグメントの業績は次のとおりです。

「真空機器事業」

(単位：百万円)

	2018年6月期第2四半期 連結累計期間	2019年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	128,739	102,234	△20.6%
売上高	108,577	100,641	△7.3%
営業利益	17,000	14,323	△15.7%

真空機器事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(FPD及びPV製造装置)

FPD製造装置の受注高は、前年度下半期に受注が一時的に低調となりましたが、当期においては中国を中心としたテレビ向け大型液晶製造装置を中心に回復してまいりました。また、売上高には有機EL製造装置も寄与しましたが、受注高、売上高ともに前年同期が高水準であったこともあり前年同期を下回る結果となりました。

(半導体及び電子部品製造装置)

半導体関連は、NANDフラッシュメモリやDRAM、次世代不揮発性メモリ向けスパッタリング装置や自然酸化膜除去装置、ロジック向けスパッタリング装置などが売上高に寄与、電子部品関連は、モバイル機器向け高機能デバイス製造装置やパワー半導体向け製造装置なども増加し、前年同期並みの売上を計上しました。一方受注高は、足元のメモリ関連投資の減速を受け前年同期を下回りました。

(コンポーネント)

有機EL製造装置に搭載するクライオポンプをはじめ、FPD、半導体、電子部品業界や自動車関連向け真空ポンプ、計測機器が堅調に推移し、受注高、売上高ともに前年同期を上回りました。

(一般産業用装置)

自動車部品製造用真空熱処理炉や漏れ検査装置などを中心に売上高は前年同期を上回りました。一方、受注高は中国における高機能磁石製造用投資の延期等もあり前年同期に比べ減少しました。

その結果、真空機器事業の受注高は1,022億34百万円、受注残高は952億58百万円、売上高は1,006億41百万円となり、143億23百万円の営業利益となりました。

「真空応用事業」

(単位：百万円)

	2018年6月期第2四半期 連結累計期間	2019年6月期第2四半期 連結累計期間	前年同期比(増減率)
受注高	17,590	17,228	△2.1%
売上高	16,700	16,153	△3.3%
営業利益	1,706	1,197	△29.8%

真空応用事業を品目別に見ますと次のとおりです。

(材料)

主に液晶ディスプレイ用スパッタリングターゲットを中心に受注、売上を計上しましたが、韓国における装置稼働の低下等を受け前年同期を下回りました。

(その他)

マスクブランクス関連は、高精細、高機能ディスプレイや車載及び産業用半導体需要の増加を受け堅調に推移、表面分析機器関連も寄与し、受注高、売上高とも前年同期を上回りました。

その結果、真空応用事業の受注高は172億28百万円、受注残高は68億66百万円、売上高は161億53百万円となり、11億97百万円の営業利益となりました。

なお、上記金額には消費税等は含まれておりません。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

前連結会計年度末に比べ、134億29百万円減少となりました。主な要因は、投資有価証券が129億42百万円減少したこと、現金及び預金が80億49百万円減少したこと、一方で、受取手形及び売掛金が23億28百万円増加したこと、たな卸資産が20億33百万円増加したことなどであります。

(負債)

前連結会計年度末に比べ、100億86百万円減少となりました。主な要因は、短期借入金が65億90百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が36億49百万円減少したこと、未払法人税等が17億61百万円減少したこと、一方で、長期借入金が59億52百万円増加したことなどであります。

(純資産)

前連結会計年度末に比べ、33億43百万円減少となりました。主な要因は、その他の包括利益累計額が94億43百万円減少したこと、一方で、利益剰余金が63億18百万円増加したことなどであります。

② キャッシュ・フローの状況

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

税金等調整前四半期純利益、減価償却費などのプラス要因に対し、売上債権の増加、たな卸資産の増加、仕入債務の減少、前受金の減少などのマイナス要因により、53億68百万円の収入となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

有形及び無形固定資産の取得による支出などにより、50億39百万円の支出となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

短期借入金の減少、配当金の支払、長期借入金の増加などにより、60億98百万円の支出となりました。

以上により、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べ、63億93百万円減少し、479億55百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年6月期の業績予想につきましては、最近の業績の動向等を踏まえ、2018年8月8日に公表しました2019年6月期の連結業績予想を修正することとしました。当該予想に関しては、本日(2019年2月13日)公表しました「連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	57,074	49,025
受取手形及び売掛金	87,276	89,603
商品及び製品	4,615	4,539
仕掛品	23,618	25,042
原材料及び貯蔵品	10,847	11,533
その他	9,509	8,228
貸倒引当金	△914	△554
流動資産合計	192,026	187,416
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	31,814	30,665
機械装置及び運搬具(純額)	16,382	15,458
工具、器具及び備品(純額)	1,839	1,900
土地	8,624	8,687
リース資産(純額)	731	740
建設仮勘定	4,907	6,090
有形固定資産合計	64,297	63,538
無形固定資産		
リース資産	81	70
ソフトウェア	844	894
その他	2,529	2,291
無形固定資産合計	3,454	3,256
投資その他の資産		
投資有価証券	25,562	12,620
繰延税金資産	7,315	9,768
その他	6,812	9,673
貸倒引当金	△2,048	△2,282
投資その他の資産合計	37,641	29,779
固定資産合計	105,392	96,573
資産合計	297,418	283,989

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2018年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	55,566	51,917
短期借入金	21,539	14,950
リース債務	300	327
未払法人税等	4,534	2,773
前受金	16,739	15,927
賞与引当金	3,185	3,427
役員賞与引当金	512	211
製品保証引当金	1,742	1,685
受注損失引当金	1,074	834
その他	13,637	11,096
流動負債合計	118,829	103,146
固定負債		
長期借入金	14,150	20,101
リース債務	607	579
繰延税金負債	22	15
退職給付に係る負債	8,370	8,141
役員退職慰労引当金	272	137
役員株式給付引当金	134	139
資産除去債務	395	397
その他	568	606
固定負債合計	24,520	30,116
負債合計	143,348	133,262
純資産の部		
株主資本		
資本金	20,873	20,873
資本剰余金	3,912	3,912
利益剰余金	107,238	113,555
自己株式	△266	△247
株主資本合計	131,756	138,093
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14,950	5,820
為替換算調整勘定	2,579	2,186
退職給付に係る調整累計額	△1,753	△1,674
その他の包括利益累計額合計	15,775	6,332
非支配株主持分	6,538	6,301
純資産合計	154,069	150,726
負債純資産合計	297,418	283,989

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
売上高	125,277	116,794
売上原価	88,149	82,014
売上総利益	37,129	34,780
販売費及び一般管理費	18,430	19,293
営業利益	18,699	15,487
営業外収益		
受取利息	73	96
受取配当金	174	279
保険配当金	365	346
持分法による投資利益	209	165
その他	742	508
営業外収益合計	1,563	1,394
営業外費用		
支払利息	193	140
その他	406	369
営業外費用合計	599	509
経常利益	19,662	16,373
特別利益		
投資有価証券売却益	2,002	—
持分変動利益	—	303
特別利益合計	2,002	303
特別損失		
固定資産除却損	52	—
特別損失合計	52	—
税金等調整前四半期純利益	21,612	16,676
法人税、住民税及び事業税	4,073	3,524
法人税等調整額	548	1,356
法人税等合計	4,621	4,880
四半期純利益	16,991	11,796
非支配株主に帰属する四半期純利益	674	563
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,317	11,234

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
四半期純利益	16,991	11,796
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	9,704	△9,123
為替換算調整勘定	2,388	△862
退職給付に係る調整額	133	79
持分法適用会社に対する持分相当額	13	389
その他の包括利益合計	12,238	△9,518
四半期包括利益	29,230	2,279
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28,350	1,790
非支配株主に係る四半期包括利益	879	489

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年7月1日 至 2017年12月31日)	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年7月1日 至 2018年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	21,612	16,676
減価償却費	3,218	3,401
貸倒引当金の増減額(△は減少)	87	△41
賞与引当金の増減額(△は減少)	400	247
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△32	△106
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△53	△135
役員株式給付引当金の増減額(△は減少)	28	5
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△536	△54
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△333	△240
受取利息及び受取配当金	△247	△375
支払利息	193	140
投資有価証券売却損益(△は益)	△2,002	-
持分変動損益(△は益)	-	△303
売上債権の増減額(△は増加)	△1,510	△3,654
たな卸資産の増減額(△は増加)	△4,991	△2,861
仕入債務の増減額(△は減少)	3,800	△3,557
前受金の増減額(△は減少)	6,233	△645
未払消費税等の増減額(△は減少)	△472	492
その他	△676	1,317
小計	24,720	10,306
利息及び配当金の受取額	259	439
利息の支払額	△194	△138
法人税等の支払額	△3,304	△5,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	21,481	5,368
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△7,583	△3,023
定期預金の払戻による収入	7,140	4,680
有形及び無形固定資産の取得による支出	△4,148	△6,476
投資有価証券の売却による収入	2,171	-
関係会社株式の取得による支出	△304	-
その他	71	△220
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,653	△5,039
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△4,551	△6,897
長期借入れによる収入	8,200	10,200
長期借入金の返済による支出	△7,231	△3,985
配当金の支払額	△2,463	△4,679
自己株式の取得による支出	△0	△0
その他	△929	△737
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,974	△6,098
現金及び現金同等物に係る換算差額	845	△36
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	12,698	△5,805
現金及び現金同等物の期首残高	47,555	54,348
連結除外に伴う現金及び現金同等物の減少額	-	△588
現金及び現金同等物の四半期末残高	60,254	47,955

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(IFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」の適用)

米国を除く在外連結子会社において、第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第15号「顧客との契約から生じる収益」を適用しております。

当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に及ぼす影響は軽微であります。

(セグメント情報)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2017年7月1日至2017年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	108,577	16,700	125,277	—	125,277
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,352	820	2,172	△2,172	—
計	109,929	17,520	127,449	△2,172	125,277
セグメント利益	17,000	1,706	18,706	△7	18,699

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	真空機器事業	真空応用事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	100,641	16,153	116,794	—	116,794
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,811	891	2,702	△2,702	—
計	102,452	17,044	119,496	△2,702	116,794
セグメント利益	14,323	1,197	15,520	△32	15,487

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去額であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりです。

セグメントの名称	販売高(百万円)	前年同期比(%)
真空機器事業	100,641	92.7
真空応用事業	16,153	96.7
合計	116,794	93.2

(注) 1. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 真空機器事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりです。

品目	当第2四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
FPD及びPV製造装置	46,488	46.2
半導体及び電子部品製造装置	24,007	23.9
コンポーネント	18,323	18.2
一般産業用装置	11,823	11.7
計	100,641	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

3. 真空応用事業の主な品目別販売実績及び当該販売実績に対する割合は次のとおりです。

品目	当第2四半期連結累計期間	
	販売高(百万円)	割合(%)
材料	7,653	47.4
その他	8,501	52.6
計	16,153	100.0

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。